

自分が笑うためにどうしたら良いのだろう。

誰もが、怒ったり泣いたりしたくない。

辛い思い、やりきれない思いをしたくない。

そんな時、私はすぐに、自分を許してしまうことにしています。できない自分でも良い。ダメな自分でも良い。完璧じゃない自分でも良いんだ。



子育て中は、人一倍ネガティブで心配性な人間でした。子どもを育てるといって、大きな責任感を常に感じていたのです。そんな日々は気がつくとなんとなく間に過ぎ去り、いつの間にか心配される側になっていました。そう、子育ては本当にあつという間に過ぎてゆくのです。

気持ちにゆとりを失くし、時間に追われ、頼れる存在が少なく、母たちにとって今の環境は子育てしやすい環境とはかけ離れています。

しかし、ぜひとも、自分を許し、頼り、多くの晴れ！を探しながら、子育てを楽しめたら良いなと思います。



ただの思い込みが引き寄せる晴れ！

世の中の母たちが『わたしは晴れ女！』と思えたら良い。例え雨降りでも、『雨が好き』と思えたら良い。晴れの日も雨の日もたくさん笑えると良いなと思います。

I LIKE IT

★ 星 ★

越村 美奈子

国際宇宙ステーション（ISS）を見たことがありますか？ 私は星を見るのが大好きです。学生時代部活の合宿所で見た満点の星空。天の川って本当に見えるんだ！という感動は今でも忘れられません。



流星群が観測できる日には夜中に目覚ましをかけて起きて見るほどの星好きです。流れ星はあつという間に消えてしまつて願いごとを唱えている時間はないですが、見えた時の感動は大きいです。

星に関することをネットで検索していた時に、国際宇宙ステーション（ISS）を肉眼で見ることが出来ると知りました。その頃ちょうど日本人宇宙飛行士の油井亀美也さんがISSに長期滞在中で、息子と空を見上げては「油井さーん、がんばってー！」と手を振っていました。肉眼で見るISSはゆっくり動く流れ星のように見えます。見える時間も〇月〇日〇時〇分から〇時〇分まで〇〇の方向と具体的に載っているのでとても見つけやすいです。ほんのわずかではありますが、宇宙という世界が身近に感じる瞬間で、気持ちもグッと持ち上がります。星を見ること、ISS を見ること、お勧めです。

2023年
10月号
Vol.134

Free Paper
Memorandum



With Your Smile
～愛着かなべビシッターを優しい笑顔の笑顔の手伝い～
ACSA 全国保育サービス協会

有限会社 ウィズ

〒346-0022
埼玉県久喜市下早見1125-33
TEL 0480-23-4196
FAX 0480-23-4099
http://withbaby.sakura.ne.jp



一般社団法人
日本育成子ども協議会
Japan Child Upbringing Conference



多様な働き方実践企業



志賀直哉作「小僧の神様」大正時代の短編小説

小僧は秤を売る店に奉公しており、いつか寿司を食べてみたいと思っている。お金持ちの貴族議員Aが小僧の気の毒な様子を見て、お寿司をご馳走することができた。小僧も満足して自分も満足するはずが、良い気持ちにならず淋しく嫌な気持ちになっている。「人を喜ばせるのは悪いことではないのに、Aは悪事を働いたあのような後味の悪さを感じる」一方小僧はAのことを「神様」と思うようになる。悲しいとき苦しいときに必ず神様を想う。それだけで慰めになっていつかまた思わぬ恵みをもって、現れてくれることを力強く信じ生きる。立場の違いが「親切と施し」という逡巡になる。互いに相手を思いやる、それが大事なんですね。

★伝法谷の記事『ゆずり葉の思い』は“心に響く言葉”です。

★今年からのテーマ『日常の中のハレの日』もお楽しみください。



ゆずり葉の思い

心に響く言葉

伝法谷 幸子

子育て中は1日があっという間に過ぎますが、心に響く言葉を持っていればパワーが湧いてきます。

—人生には3回チャンスが訪れる—

「人生には3回チャンスがあるんだって。そのチャンスは絶対逃がすな、チャンスには後ろ髪がないぞ」と叔父から聞いた新婚時代。心に響き、今もその時のことをはっきり思い出します。チャンスの1つは結婚した今だと思ったからでしょう。あと2つはどんな時かとワクワクしました。主人も何度かその話をしていたので、お互い心に刻まれた言葉です。皆さんもチャンスをつかんで下さい。

—自分でガンバル！！—

孫の3歳の誕生祝いに、息子が釣り居酒屋を見つけて一緒にお祝いしました。

お店の中央に大きな木造船があり、周りをグルッと水槽が囲んでいます。餌をつけて釣竿を垂らして親子3代揃って夢中。釣れた魚が刺身や寿司になって登場。子は釣りが楽しく、好まなかった焼き魚も残さず食べる。命をいただく過程を見るのも大切、良き体験です。

上手に糸を垂らせないので、大人が手を添え

て待ち、それでもなかなか釣れません。釣れた時にはニッコリ、顔が高揚して小さいながら達成感を味わって喜んでいました。

また釣りをしたいと言って竿を持つと、子が「**僕が自分でガンバル**」とパパに言って添えていた手を遮ったのです。自分で頑張りたいという意思表示に感激（笑）

少し前までは靴履けない、洋服脱ぐのも手伝ってと涙だったのに、1人でできることが増えおしゃべりして気持ちも伝え、成長した瞬間を見られて嬉しい1日でした。幼子の**自分でガンバル**は素敵です。



因果応報

善い行いをすれば幸せが訪れ、
悪い行いをすれば災いが降りかかる

私は小心者で自分に自信がなかったし、この熟語を知って、悪いことはやらずに生きていこうと思ってきました。それでもママ友に悪評をささやかれたことがあります。そんな時助けられたのは仲の良いママ友です。私がそんなことを言うはずがないと信じ私に確認してくれて発覚。言ったことがない数々の話に驚きました。学生時代など環境が似かよった友達と違って、ママ友は10人10色です。アクシデントにあうこともあります。が、**因果応報**とか**お天道様は見ているよ**という言葉が心であれば良き人生を過ごせると思います。小さい子に伝えたい言葉です。



日常の中のハシの日

篠崎 薫保育士

私は自称『晴れ女』です。

大切な予定のある日が雨降りだったことはほとんどなく、外出の予定時間になると降っていた雨が止み、不思議なほどに太陽が味方してくれるのです。

保育室勤務中に天候が原因で戶外活動が中止になることもなく、長靴を履いた子ども達が雨上がりの公園で水たまりやぬかるみの感触を楽しむことも多々ありました。

それは、もしかしたらそう思い込むポジティブな感情がたまたま引き寄せた結果かもしれません。

日常の中のハシの日...

私にとって日常はいつも晴れ！

例え、心が曇りがちな日にも。

例え、どうしても涙を止められない日にも。

僅かな日差しを求めて笑いたい。

そして、そんなポジティブな感情を、私を取り巻く人々と共有したい。大切な家族、友人、仲間たちがたくさん笑って過ごせるように。

出会った子どもたちの今と、これからの未来がキラキラ輝くように。